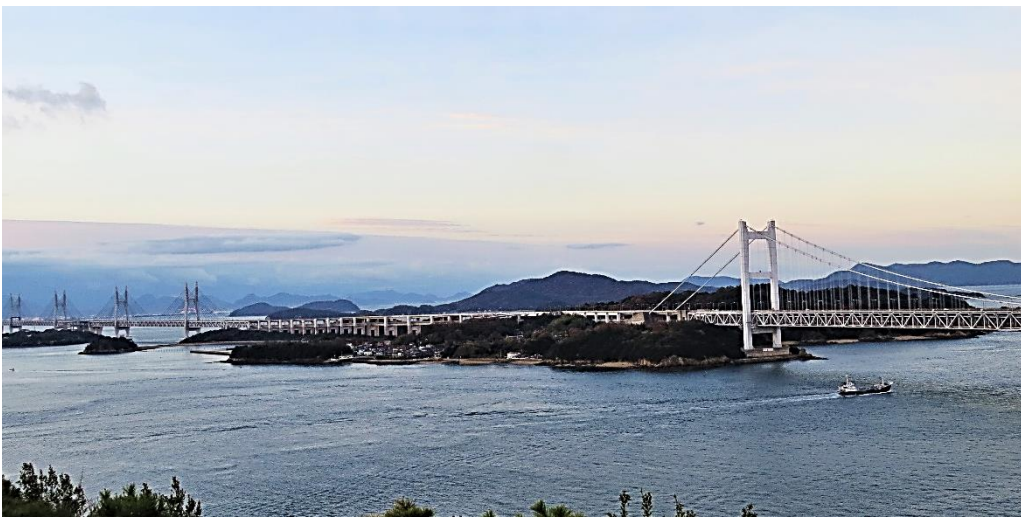


道

2021年1月1日
(第65号)

瀬戸大橋 (鷺羽山から)



〇さん。昨年、三十数年ぶりに会って語り合う機会を得た。高校教員一筋。弓道の指導者としても実績を重ねている。昔と変わらない温和な語り口や表情のなかにどっしりとした風格が漂う。彼とは変な因縁がある。同じ職場の近い所で働いていて、初め何年かは「嫌な奴」といった印象を抱いていた。それが十年程経った時には、最も親しい友の一人となっていたのである。何がそうさせたのか、よく分からない。海釣りを始めたのも彼とだった。酒もよく飲んだ。元旦早朝、二人で山に登り、熱燗を酌み交わしてご来光を仰いだことが赤い太陽の眩しさと共に思い出される。▼Kさん。社会福祉士で、「後見」業務などでは僕の「先輩」的な存在。年上の僕に「失礼いたします」などと遠慮がちで丁寧な言葉遣いをする一方、「林さん、そりゃあ、ちごうとる。おえん」などと、おっとりとした感じの太い声で喋る。彼には岡山弁が似合う。「天皇制」が絡む話題など、考えが食い違って言い合いになったりする。それも楽しいと思えるようになった。彼は今の僕にとって、大切な友の一人であることに間違いない。こんな時期ではあるが、月に一回ぐらいは彼と酒を飲んでグダグダ言うのだ。▼「友」はいい。違うから面白い。人を豊かにするのは、そうした「他者」なのだと思う。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田 椋の木